

# 今年度(4年目)の取組み状況について



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

仙台赤十字病院  
WLB推進チーム

# 仙台赤十字病院の概要



所在地 仙台市太白区八木山本町二丁目43番の3

病床数 許可病床数389床(実稼働病床数335床うち地域包括ケア病棟42床)

職員数 612名(4.2.1現在)

機能・特質 急性期病院・DPC標準病院群・病院機能評価認定施設・診療科23科

急性期一般入院料1・25対1急性期看護補助体制加算(看護補助者

5割未満)・夜間100対1急性期看護補助体制加算・医師事務作業補助

体制加算1 20対1

総合周産期母子医療センター

地域災害医療センター指定(災害拠点病院)

臨床研修指定病院(基幹型)

指定居宅介護事業所・地域医療支援病院

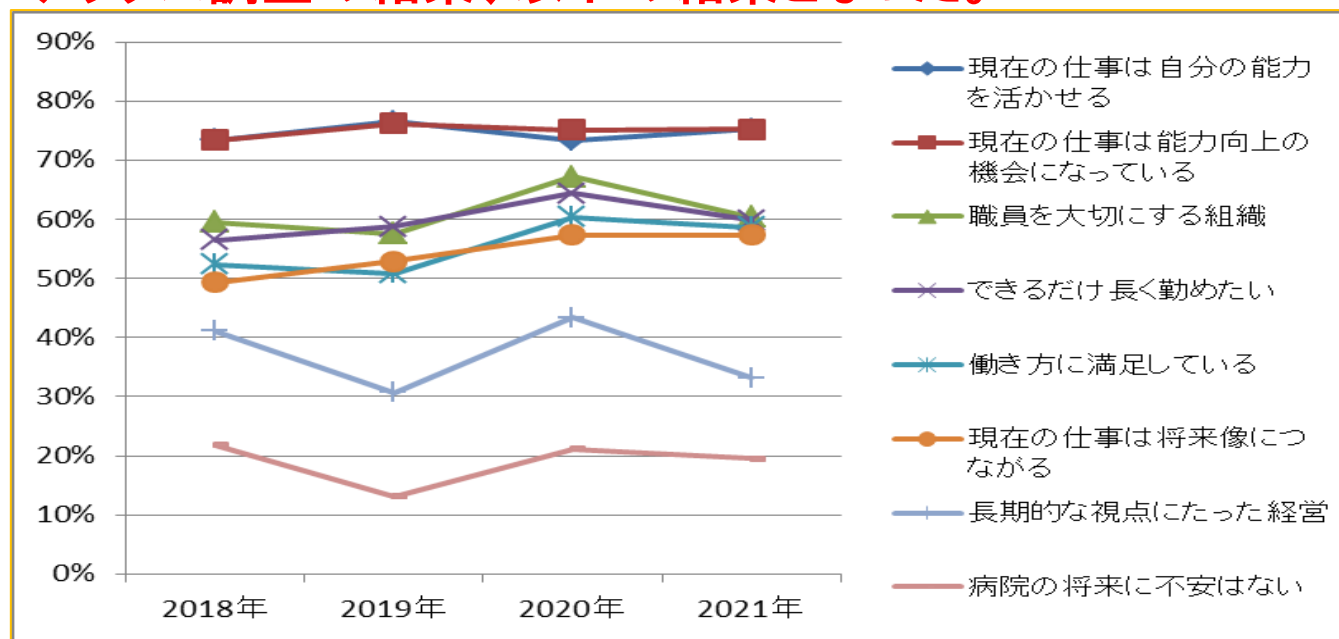
人工関節センター・関節鏡センター



## 4年目の現状①

## 職員の満足度・働き方

◎インデックス調査の結果、以下の結果となった。



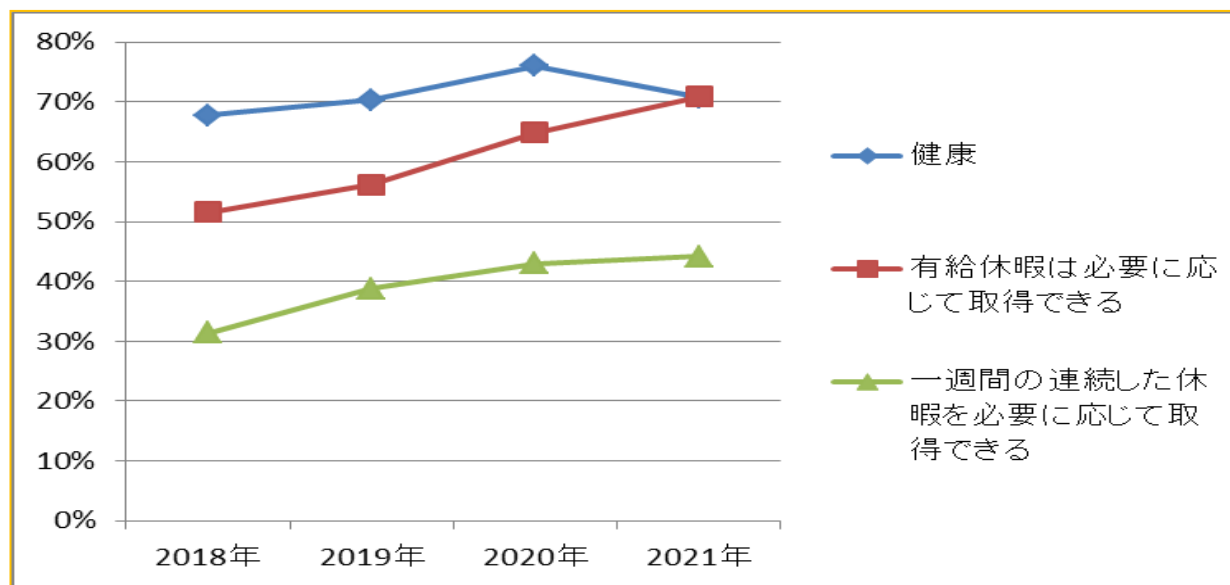
・回答率は77.4%→81.8%→79.5%→78.2%とコロナの影響か2年連続減少した。

※満足度は下がっている項目が多いが、「自分の能力を活かせる」「能力向上の機会になっている」が高い数値を維持していて今回も僅かに増加した。

※「病院の将来に不安はない」が21.1%→19.5%と1.6%減少した。

## 4年目の現状②

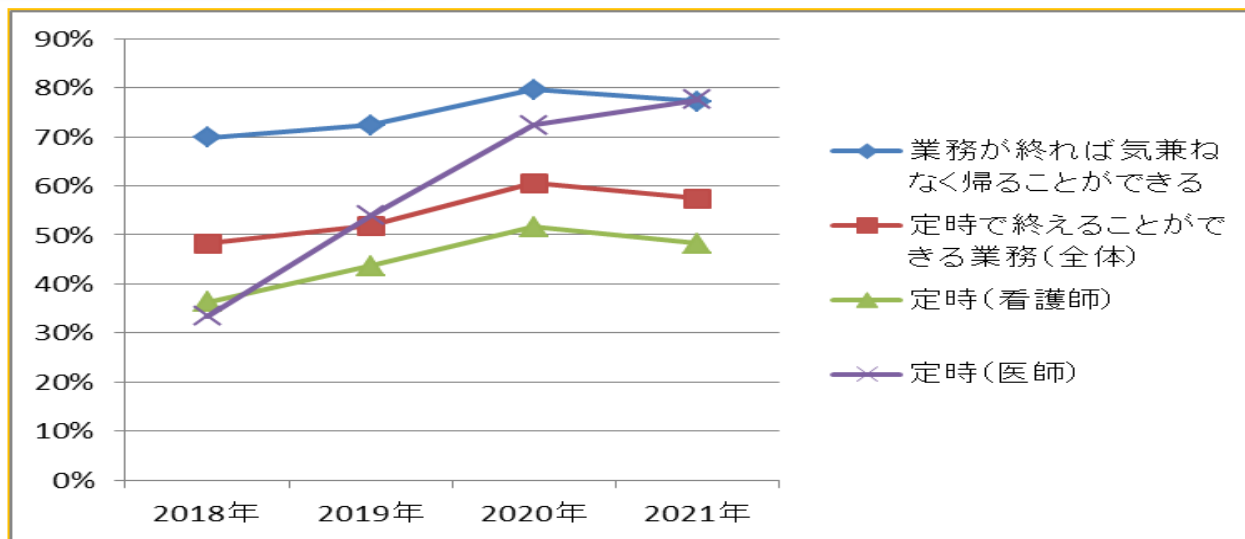
### 職員の健康状態・年休



- ・健康は67.7%→70.3%→76.0%→70.8%と今回は減少した。
- ・「やや不調」「非常に不調」は今回増加した。
- ・年次有給休暇に関して、「必要に応じて取得できる」が毎回増加しており、今回も6%増加している。また「一週間程度の連続した休暇を取得できる」も同様に増加している。

## 4年目の現状③

### 職員の時間外労働



- ・時間外労働に関して、医師が**34.9→33.5→31.6→31.4時間/月**と微減しているがまだ30時間を超えている。またコメディカルが微増している。
- ・「業務が终れば気兼ねなく帰ることができる」「定時に帰ることができる」が今回減少しているが、医師の「定時に帰ることができる」が77.5%と高く前回より5.1%増加している。医師の回収率が47.6%と低い、回答した医師は定時に帰ることが可能な結果となった。なお、看護師は48.2%で3.4%減少した。

## アクションプラン(全体)



### ◎ミッション

人道・博愛に基づいて医療を行い、全ての人の尊厳をまもる。

### ◎ビジョン

- ・地域住民に貢献し喜ばれる病院
- ・誇りをもって働ける魅力ある病院
- ・経営が安定し常に進歩する病院

※昨年度同様



## 今年度のアクションプラン



### ◎WLB推進活動についての院内での共有、職員の参加及び協力

4年目の今年は、一部メンバーを入れ替え・追加して、会議の頻度や会報誌発行回数を見直しを行いながら、引き続きWLB推進活動の職員への周知・浸透、より一層の職員参加及び協力を促すことを目標としてアクションプランを作成した。

また、今年も計画的な年次有給休暇取得促進活動を継続し、各々の働き方改革に繋がる部署間の垣根を越えた協力体制「おたがいさま作戦」を継続活動計画とした。

## アクションプランの実施状況①

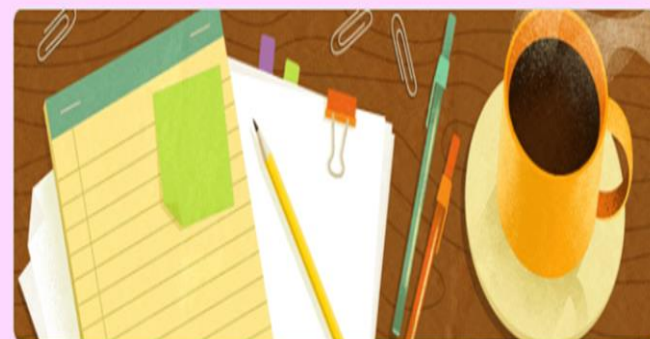


- ・今年度より新メンバーでWLBプロジェクト会議を月1回開催し、WLB推進について検討・協議を行った。
- ・WLB report(会報誌)を年4回(4・7・10・1月)及び臨時号を発行して様々な情報を職員に周知した。
- ・引き続き年次有給休暇取得調査を行い、取得率のグラフと促進案内を会報誌に掲載した。
- ・年次有給休暇取得義務日数不足職員へ、院長名文書等で督促を行っている。



## アクションプランの実施状況②

- ・「コロナ禍におけるワークライフバランスに関するアンケート」を院内ネットワークで行い（Forms）、号外として結果報告をした。
- ・今年度の継続活動計画「おたがいさま作戦」について、会報誌に毎回掲載した。
- ・正しいワークライフバランスについて改めて会報誌に掲載した。
- ・コロナ禍での過ごし方について会報誌で紹介した。（WLB推進チームメンバーの事例）



### コロナ禍におけるワークライフバランスに関するアンケート

コロナ禍で仕事上のストレスが大きいと思いますが、WLB推進チームでは、皆様の生活上の変化や取り組み方の情報を共有することで、日常生活に少しでもプラスの効果を生むことができればと考え、アンケートを実施することといたしました。

皆様からの回答は会報誌等でフィードバックいたします。当院におけるより良いワークライフバランス構築のため多くの回答をお待ちしています。

アンケートの締め切りは令和3年5月31日（金）です。

なお、回答者の個人情報（氏名・ユーザーID等）は収集されません。

回答はひとり1回でお願いします。

### 【アンケート内容一部】

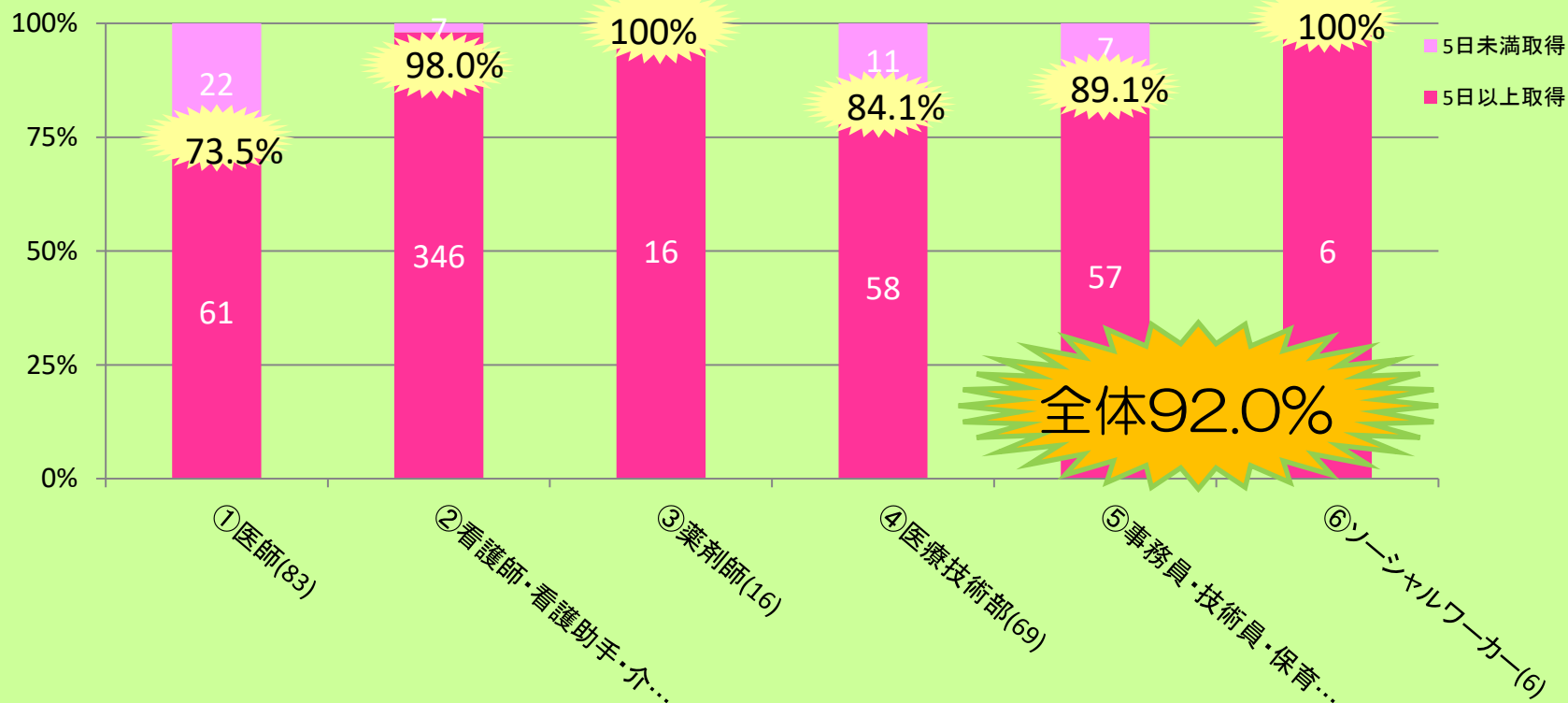




## 令和3年度 年次有給休暇取得状況(R3.4月～12月)

令和3年度年次有給休暇取得義務原則5日(R3.4月～R4.3月)

【職種別義務日数取得達成率】



※各部署の1日・半日年休のみカウント(期間をとおして勤務していない職員及び退職者は除く。)

◎こちらのデータを基に年次有給休暇取得の督促を行っている。

## 成果と今後の課題



- ・インデックス調査結果は、コロナ禍が長期間になっていることもあり、前回よりも悪くなっている項目が多かった。
- ・3年後のゴールの成果指数、年次有給休暇7日取得、時間外労働の5%削減（医師34.9→33.5→31.6→31.4時間/月と10%削減）「病院の将来に不安はない」（21.8%→13.1%→21.1%→19.5%）の30%以上が未達成である。
- ・2024年4月より開始する「医師の働き方改革」も含め、部署間の垣根を越えた業務について継続して検討し、業務の効率化をより一層推進していく必要がある。
- ・長期化する新型コロナウイルス感染症や、宮城県立がんセンターとの統合・連携等、病院の今後の動向に対する影響を考慮する必要がある。

## 課題への対応



- ・WLB推進会議で活動に関する提案・検討・協議等を継続して行う。
- ・職員にWLB推進の提案をお願いする。新採用職員にコロナ禍での就職活動等についてアンケートを行う等意見を収集する機会を設ける。
- ・WLB report(会報誌)については引き続き年4回発行し、必要時には号外を発行する。内容についても検討する。
- ・「おたがいさま作戦」を継続活動計画として、各部署から新たに意見を聞くために「ご意見募集」を行う。
- ・年次有給休暇取得について、WLB推進チームとして促進活動を継続して行う。
- ・新型コロナウイルス感染症や病院統合・連携による将来への不安については、方向性の決定後に職員が正しく理解する必要がある。

最後に



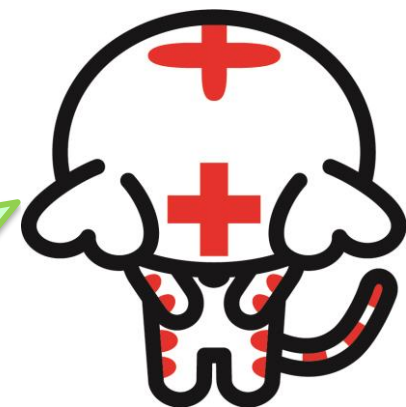
コロナ禍3年目になったが、次年度も「おたがいさま作戦」によって、職員がより働きやすく働き続けられる、「おかげさま」な職場の構築に引き続き寄与していきたい。

今回でインデックス調査は終了。4年間ありがとうございました。



WLB推進チームが院内  
表彰されました。  
ご清聴ありがとうございました。

ぺこり



ハートちゃん